

5月の 園便い



21年5月 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

赤ばらさんが幼稚園に慣れていく姿は一人ひとり違って、その子らしい姿が見られています。お兄ちゃんと一緒にいることで安心する赤ばらさんや、誰か一人でも大人がそばにいてくれることで安心してられる子、遊ぶときはお部屋にいるけど「おやつは先生のお部屋で食べるからー」と宣言してバスから降りてくる子—等々様々な姿を見せています。自分の気持ちを表すことができる子どもたちですから、こうした姿はむしろ貴重なのです。人間は依存しながら自立へ向かいますからお兄ちゃんや保育者を求めて当然なのです。バス添乗員に抱っこされて降りはじめると「え〜ん」と泣き出すT君、保育者が抱きとめると泣くのが止まります。でも保育室へ行こうとすると「え〜ん」そこで「今日は先生のお部屋で遊ぼうね」というとピタリと泣き止んで電車の本を見ています。「これは〇〇の電車だよ、ほらおんなじ〜」などとよくおしゃべりをしてご機嫌！そしておやつ 시간には赤ばらの保育室に戻っていきます。

白ばらさんは一つ大きくなったことが嬉しくて、ちょっとお兄さんお姉さんになったみたい！少し遠慮気味に先生のお部屋にきて、赤ばらさんの姿に引き気味に立ち止まっていたりします。あなたたちもそうだったのよね、泣きながらママとバイバイしたことをかすかに覚えているのでしょうか。青ばらさんはクラス替えがあったから不安になっていないかしら—と少し心配だったのですが、やはり2年間培われた意欲をもとに自分がやりたいことをしっかりとって取り組んでいるようです。園庭で担任たちと鬼ごっこをして、思いっきり走っている姿にはほっとさせられます。担任は信頼関係を作るために子どもたちとしっかりと向き合っています。

さて、依存と自立についてですが、子どもたちは依存しつつ反抗しつつ自立していきますので、大人は子どもたちの依存と反抗をきちんと受け止めなければなりませんね。子どもを大人扱いしないように、子どもそのままの姿を受け止め認めてあげましょう。子どもはまだ物事の理解も言葉の理解も十分ではありませんから、こんこんと諭されたりお説教されたりしたら、もう何を言われているのか分からないのです。「〇〇！なにやってんの？」「自分がしてることわかってんの？」などという大人向けの言葉を子どもにぶつけないように—こうしてほしいということを短く簡潔に言いましょう。大人の言葉で子どもに接しないでくださいね。子どもたちが信頼できる大人、安心して依存し反抗できる大人としていましょうね。子どもにとって信頼できる大人がそばにすることは、自分に自信を持つことができるようになるための基礎なのです。

5月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	金	○	2:00		
2	土	/	/		
3	日	/	/		憲法記念日
4	月	/	/		みどりの日
5	火	/	/		こどもの日
6	水	/	/		振替休日
7	木	○	2:00		
8	金	○	2:00	新入園児さんの給食試食会を行ないます。赤ばらさんの半数は早いお帰りで。	
9	土	/	/		第2土曜日
10	日	/	/		
11	月	○	2:00	新入園児さんの給食試食会を行ないます。赤ばらさんの半数は早いお帰りで。	
12	火	○	2:00	赤ばらさんは本日から給食が始まります。降園時間は2:00になります。	
13	水	○	2:00		
14	木	○	2:00		
15	金	○	2:00		
16	土	×	11:30	自由登園日です。 つぼみの広場があります。	
17	日	/	/		
18	月	○	2:00	青陵大学短期大学部1年生が実習に入ります。どうぞよろしくお願いいたします。	
19	火	○	2:00		
20	水	○	2:00		
21	木	○	2:00	赤ばら1組学級懇談を行ないます。	
22	金	○	2:00	赤ばら2組学級懇談を行ないます。	
23	土	/	/		第4土曜日
24	日	/	/		
25	月	○	2:00		
26	火	○	2:00		
27	水	×	11:30	誕生会です。5月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。	
28	木	○	2:00		
29	金	○	2:00	定期健康診断を行います。	
30	土	/	/	森の探検隊を行ないます。詳細につきましては後日配布のお便りをご覧ください	
31	日	/	/		